

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金 事後評価書

計画の名称	相模湾沿岸における高潮・侵食対策の推進（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 （5年間）										重点計画の該当		
交付対象	神奈川県												
計画の目標	高潮（越波、浸水）等への対策、砂浜の侵食（護岸崩壊、越波）対策として、海岸保全施設の整備や養浜を実施し、人命・財産を防護する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,636 百万円	A	1,516 百万円	B	0 百万円	C	120 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	7	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)		(H31末)
1	・L1津波、高潮のどちらか高い方を設計水位（防護水準）に対する要防護面積及び要防護人口を13.9ha（1125人）（H27当初）から0.8ha（234人）へ減少させる。			
	・海岸保全基本計画に基づき、要防護面積を減少させる。	14 ha		1 ha
2	・L1津波、高潮のどちらか高い方を設計水位（防護水準）に対する要防護面積及び要防護人口を13.9ha（1125人）（H27当初）から0.8ha（234人）へ減少させる。			
	・海岸保全基本計画に基づき、要防護人口を減少させる。	1125 人		234 人
3	・相模灘沿岸（東京湾の一部を含む）の海岸保全施設について、老朽化調査を実施し、長寿命化計画の策定を行う。			
	・長寿命化計画を策定し、ライフサイクルコスト縮減を図りながら適切な維持管理に取り組む海岸数を増加する。	0 海岸		13 海岸
4				

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む		-	連携中枢都市圏を含む		-
-----	-----------	---	----------	---	----------	--	---	------------	--	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果 備考																				
海岸事業	A09-001	海岸	一般	神奈川県	直接	神奈川県	侵食		茅ヶ崎海岸侵食対策事業	養浜V=150,000m3、突堤1基	茅ヶ崎市	■	■	■	■	■	545.0		策定済	
	A09-002	海岸	一般	神奈川県	直接	神奈川県	高潮		小田原海岸高潮対策事業	護岸改良工 L=250m	小田原市	■	■	■			264.0		策定済	
	A09-003	海岸	一般	神奈川県	直接	神奈川県	高潮	-	葉山海岸高潮対策事業	護岸改良工 L=278m 消波工 L=353m	葉山町	■	■	■	■	■	267.0		策定済	
	A09-004	海岸	一般	神奈川県	直接	神奈川県	老朽化	-	相模灘沿岸海岸堤防等老朽化対策緊急事業	老朽化調査・長寿命化	相模灘一円(東京湾の一部を含む)	■	■	■	■		125.0		-	
	A09-005	海岸	一般	神奈川県	直接	神奈川県	高潮	-	横須賀海岸高潮対策事業	実施設計、 護岸改良工 L=140m	横須賀市					■	■	110.0		-
	A09-006	海岸	一般	神奈川県	直接	神奈川県	高潮		湯河原海岸高潮対策事業	実施設計、 護岸改良工 L=550m	湯河原町						■	117.0		-
	A09-007	海岸	一般	神奈川県	直接	神奈川県	津高		茅ヶ崎海岸等 津波・高潮危機管理対策緊急事業	津波(高潮)情報配信システム(基地局)改修 1式	茅ヶ崎市等						■	80.0		-
	A09-008	海岸	一般	神奈川県	直接	神奈川県	津高		相模灘沿岸 津波・高潮危機管理対策緊急事業	海岸監視カメラ改修工 N=5基	相模灘一円(東京湾の一部を含む)						■	8.0		-
											小計						1,516.0			
											合計						1,516.0			

C 効果促進事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	C02-001	海岸	一般	大磯町	直接	神奈川県			モニタリング調査	事業効果に関するモニタリング調査	相模湾沿岸	■	■	■	■	■	120.0		—
											小計						120.0		
											合計						120.0		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制
策定主体にて実施

事後評価の実施時期
令和5年8月

公表の方法

神奈川県県土整備局河川下水道部河港課ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関する
交付対象事業の効果の発現状況

各海岸において、高潮・侵食対策を進めることで要防護面積・人口を減少させることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

引き続き、海岸事業を継続し、安全・安心な地域づくりを推進する。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		目標値と実績値に差が出た要因
	目標値／実績値		
1	指標①（海岸保全基本計画に基づき、要防護面積を減少させる。）		
	最終目標値	1 ha	目標を概ね達成できた。
最終実績値	2 ha		
2	指標②（海岸保全基本計画に基づき、要防護人口を減少させる。）		
	最終目標値	234 人	目標を概ね達成できた。
最終実績値	236 人		
3	指標③（長寿命化計画を策定し、ライフサイクルコスト縮減を図りながら適切な維持管理に取り組む海岸数を増加する。）		
	最終目標値	13 海岸	目標を達成できた。
最終実績値	13 海岸		
4	最終目標値		
	最終実績値		

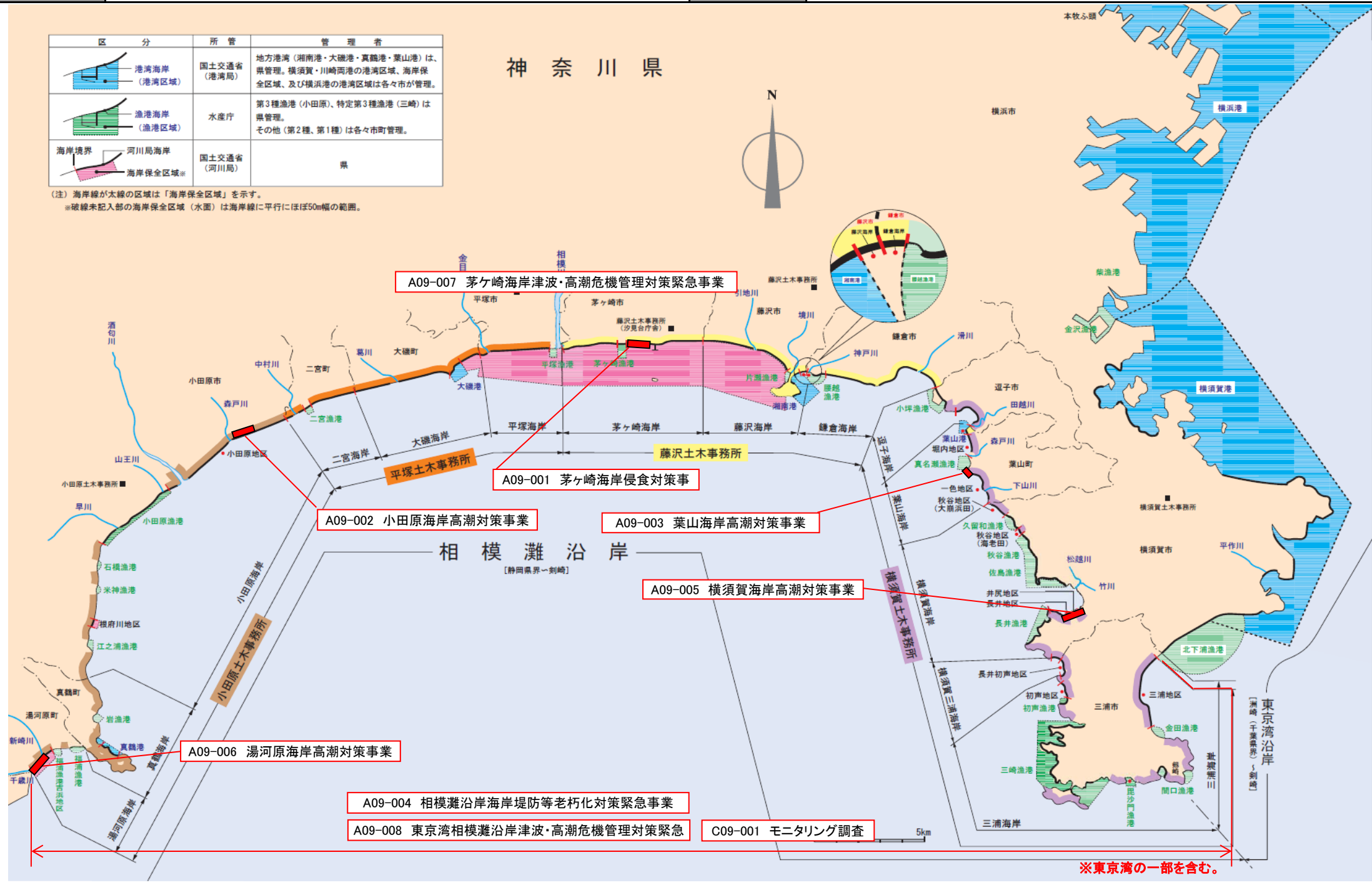
様式3 社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

計画の名称	相模湾沿岸における高潮・侵食対策の推進（防災・安全）		
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）	交付対象	神奈川県

区分	所管	管理者
港湾海岸 (港湾区域)	国土交通省 (港湾局)	地方港湾(湘南港・大磯港・真鶴港・葉山港)は、県管理。横須賀・川崎両港の港湾区域、海岸保全区域、及び横浜港の港湾区域は各々が管理。
漁港海岸 (漁港区域)	水産庁	第3種漁港(小田原)、特定第3種漁港(三崎)は県管理。その他(第2種、第1種)は各々市町管理。
河川局海岸 海岸保全区域※	国土交通省 (河川局)	県

(注) 海岸線が太線の区域は「海岸保全区域」を示す。
※破線未記入部の海岸保全区域(水面)は海岸線に平行にほぼ50m幅の範囲。

神奈川県



A09-007 茅ヶ崎海岸津波・高潮危機管理対策緊急事業

A09-001 茅ヶ崎海岸侵食対策事業

A09-002 小田原海岸高潮対策事業

A09-003 葉山海岸高潮対策事業

A09-005 横須賀海岸高潮対策事業

A09-006 湯河原海岸高潮対策事業

A09-004 相模灘沿岸海岸堤防等老朽化対策緊急事業

A09-008 東京湾相模灘沿岸津波・高潮危機管理対策緊急

C09-001 モニタリング調査

※東京湾の一部を含む。